

競技注意事項

1, 本大会は、2024 年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに競技注意事項により実施する。

2, ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップは、安全確保のため引率責任者及びチーム関係者（保護者）立ち合いのもと行う。
- (2) 朝の練習は競技開始20分前まで本競技場を使用しウォーミングアップを行うことができる。
- (3) 本大会、競技中のウォーミングアップは、サブグラウンドを使用すること。
- (4) 室内練習場は使用禁止とする。

3, 招集について

- (1) 招集（受付）方法は招集完了時刻の15分前から係が名前を呼び出し、アスリートビブスを確認させる。
※招集場所へはユニホームを着用。（アスリートビブスを安全ピンで取り付けておく）
※招集完了時刻に受付を済ませていない場合は棄権と判断する。（受付は本人が行う。）
- (2) トラック競技に出場する競技者は腰ゼッケンを受け取り各自で取り付ける。返却はゴール後に各自で取り外し回収かごに入れる。
- (3) トラック競技は競技開始時刻の10分～15分前までに出発場所に移動し待機する。
- (4) フィールド競技は練習時間があるため競技場所へ移動し、競技役員の指示を受け練習を行う。

4, 招集（受付）後の移動について

【トラック競技】

- (1) 100m、ハードル、リレー（4走者）の種目は直接、100mスタート控場所（第4コーナー）へ移動する。
- (2) その他のトラック種目はバックストレートを通り移動する。
 - ①第1コーナー（ゴール側）をスタートとする種目（400m、800m、リレー1走者）
 - ②第2コーナーをスタートとする種目（1500m、リレー2走者）
 - ③第3コーナーをスタートとする種目（200m、3000m、リレー3走者）

【フィールド競技】

- (1) 走幅跳び、三段跳びの選手は招集（受付）場所から直接、ピット（砂場）へ移動する。
- (2) 走高跳びは第3コーナーと第4コーナーの間付近から走高跳ピットへ移動する。
- (3) ジャベリックスロー、砲丸投げ、円盤投げは第1コーナーと第2コーナーの間付近から各競技ピットへ移動する。
※（2）（3）の競技者はピットへの移動の際、トラック競技者がいないことを確認しピットへ移動する

5, 競技について

- (1) 事故防止のため短距離走では、ゴール後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
- (2) 3000m競技では通し番号を使用するためTIC（総合受付）で受け付ける。
- (3) リレー競技について
 - ①リレーオーダー用紙は当日招集所で受け取ること。
※県中体連ホームページからダウンロード使用可。
 - ②リレーオーダーは1組目の招集完了時刻60分前までに所定の用紙に正確に記入の上、監督がサインをし競技者係に提出する。
 - ③リレーオーダーは決勝においても同様に提出すること。
 - ④チームの出場者は同系列（同系色）のユニホームを着用すること。
- (4) 2種目同時に兼ねて出場する競技者は、所定の用紙（2種目同時届用紙）を招集開始時刻までに、招集所へ提出すること。競技中、他の種目と兼ねて出場する場合は、審判員に申し出て競技の進行に支障のないようにする。
- (5) 走幅跳び、三段跳び、砲丸投げ、ジャベリックスローに於いて参加者多数の場合、カットラインを設けることがある。
- (6) フィールド競技は九州大会派遣のための決定戦を行う場合がある。
- (7) バー（走高跳・棒高跳び）の上げ方について

	練習	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回
男子走高跳	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.73	1.76	1.79	1.82	1.85
女子走高跳	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.48	1.51	1.54	1.57	1.60	1.63
棒高跳	2.00 3.00	2.00	2.10	2.20	2.30	2.40	2.50	2.60	2.70	2.80	2.90	3.00

※同成績の場合に於ける第1位決定のためのバーの上げは追加試技1回した後に次の様にする。

○走高跳 男女共2cm

○棒高跳 5cm

6. 用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。但し、棒高跳用ポールは個人所有物の使用を認める。
- (2) 跳躍、投てき競技の助走に使用するマークは主催者が用意する。
- (3) リレーのマーカについてはテーピングテープを各チームで準備する。

7. 競技用スパイクピン・シューズ底の厚さについて

- (1) 本競技場は全天候舗装であり、スパイクピンの長さは以下に定める。
 - ①トラック競技、走幅跳、三段跳（9 mm以下）
 - ②走高跳（12 mm以下）
- (2) シューズの靴底の厚さは以下に記する厚さを超えてはならない。
 - ①トラック種目／20 mm（800 m未満の種目・ハードル含む）
 - ②トラック種目／25 mm（800 m以上の種目・障害物含む）
 - ③フィールド種目／20 mm（除：三段跳）
 - ④三段跳び／25 mm

8. ハードルについての規程

種目	高さ	スタートラインから第1ハードルまで	ハードル間	最後のハードルからフィニッシュラインまで	ハードルの数
男 110 mH	91.4 cm	13.72 m	9.14 m	14.02 m	10
男 100 mH	84.0 cm	13.00 m	8.50 m	10.50 m	10
女 100 mH	76.2 cm	13.00 m	8.00 m	15.00 m	10
女 80 mH	76.2 cm	12.00 m	7.50 m	15.50 m	8

9. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは胸、背の両面に確実につける。（但し、棒高跳、走高跳びは胸、背のどちらかにつけても可・走幅跳は胸だけでも可）
- (2) 同種目に出場する選手には同じビブス番号を割り当てないこと。
- (3) 招集（受付）時、各選手はアスリートビブスが準備できているように各チーム対応すること。
- (4) 大会当日、アスリートビブスの忘れや同じビブス番号の選手と競技時間が重なりビブスの準備ができない場合は以下の対応を行う。
 - ①規程の大きさでマジックの手書きを特別に認める。但し運営上の妨げにならないよう本部で作成、確認を行わせること。※手書きの見本を本部で準備
 - ②チームで生地を準備できない場合は本部で購入すること。1枚200円

10. 選手変更について

- (1) 競技者変更は事故があった場合のみとする。大会前日の**正午**までに補員名簿から行き、**地区専門部長へ報告を行う。地域クラブ活動は県中体連陸上専門部長へ報告を行う。**
※競技者同士の交換となるので、同じ競技者が2種目にエントリーしている場合、1種目のみの交換は不可。（あくまでも競技者の交換となる）

11. 表彰について

- (1) 決勝が終わり次第第1～3位に表彰を行うので係りの指示に従うこと。
- (2) 順位確定後、3位以内に入賞した選手は本部（表彰者控場所に集合すること）
- (3) 各種目入賞者は、体育着、チームTシャツ（上着ユニホーム可）・アップシューズで表彰に臨むこと。

12. その他

- (1) 室内1階スタンド下通路及び雨天練習場付近の選手控場所設置は禁止する。
- (2) 競技場内に商社名、商品名のついた物を持ち込むことはできない。詳細は「競技会における広告及び展示物に関する規程」に準ずる。
- (3) 競技中におきた競技者の行為または順位等に関する抗議は、監督によりその種目の結果が正式に発表されてから、予選15分以内、決勝30分以内に本部に申し出ること。それ以外は一切受付ない。
【競技規則 TR8（国内競技会）】
- (4) 競技場内で撮影された競技写真の著作権については、大会主催者に帰属するものとする。SNS等に無断で配信する行為は厳禁。法的に訴える場合もある。
- (5) 各競技者の受付は正面入口より第4ゲート手前に設ける。（倉庫出入口外側）
- (6) 応急処置を必要とする場合は、本部待機の救護担当まで連絡すること。
- (7) 競技場内でオーディオプレーヤー、携帯電話等通信可能な機器の使用を禁止する。
- (8) 競技の観戦、応援はスタンドで行うこと。（競技場内に立ち入らない）
- (9) 競技者のユニホームは陸上競技用か学校指定の体育着で参加し、他競技のユニホームは認めない。